

# 中央家畜衛生広報

福島県中央家畜保健衛生所

〒963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字新屋敷114-12

TEL 0247-57-6131 FAX 0247-57-6144

死亡牛搬入専用TEL：090-5844-5300

E-mail kaho.lhs08@pref.fukushima.lg.jp



ふくしま応援!  
「ペコ太郎」

令和3年8月号

## 暑熱対策は万全ですか

今年の夏も平年より気温が高い予報です。高温条件下では、家畜の生産性が低下します。暑熱対策を徹底しましょう。

畜種		適温域	暑熱ストレスによる影響
牛	育成牛	10～25℃	乳用牛：乳量減少、乳房炎の増加 肉用牛：採食量低下、発情微弱、受胎率の低下、ビタミンAの減少 など
	泌乳牛	5～20℃	
	肉用牛	5～25℃	
豚	子豚	20～30℃	繁殖豚：繁殖成績低下 肥育豚：採食量低下、日増体重低下 など
	繁殖・肥育	10～25℃	
鶏	採卵鶏	18～24℃	採卵鶏：産卵率・卵質の低下 ブロイラー：採食量低下、増体重減少 など
	ブロイラー	15～25℃	

### ☆ 飼養環境対策

- ・換気扇、送風機により送風、通風を促進する
- ・寒冷紗等を利用し、直射日光を遮断し、畜舎内温度上昇を防ぐ
- ・畜舎入口やダクトファン前方に細霧装置を設置する
- ・除糞、敷料の交換をこまめに行い、高温多湿にならないように
- ・家畜をよく観察し、暑熱ダメージが大きい個体には、直接水を掛ける等の措置を行う

### ☆ 飲水及び飼料の管理

- ・新鮮な水を十分に飲水できるように
- ・早朝や夜間など涼しい時間帯に給与、給与回数を増やす等の工夫

# アフリカ豚熱(ASF)の発生状況

アジアやヨーロッパで継続的に発生しているアフリカ豚熱が、今般、ドイツの飼養豚及び中米のドミニカ共和国で発生が確認されました。

出典：OIE等

## ASFの発生状況

2021年7月29日時点

■ = 2005年以降OIE等に発生通報のあった国/地域



中米では過去、1970～80年代にASFの発生がありました。80年代中盤に撲滅されています。

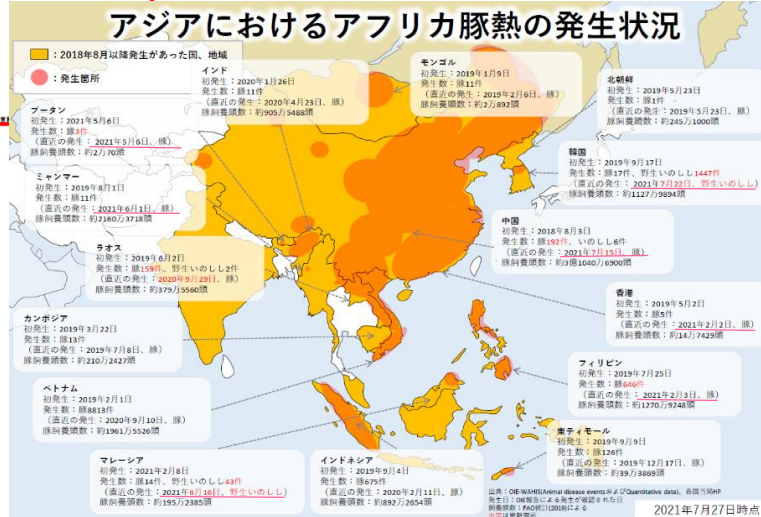
今回の発生の原因は、現時点でわかっていません。

ドミニカ共和国

アフリカ(30か国・地域)	アジア(15か国・地域)	ヨーロッパ(21か国・地域)	南北アメリカ(1か国・地域)
アンゴラ ベナン ブルキナファソ ブルンジ カメルーン カーボベルデ 中央アフリカ チアド コンゴ民主共和国 コンゴ共和国	コートジボワール ガーナ ギニアビサウ ケニア マダガスカル マリ モリシャス ニジェール ナイジェリア	ルワンダ セネガル 南アフリカ共和国 タンザニア トゴ ウガンダ ザンビア ジンバブエ マリ シエラレオネ	中国 モンゴル ベトナム カンボジア マレーシア ブルース 北朝鮮 ラオス ミャンマー フィリピン 韓国

農林水産省HPより

韓国・中国をはじめ、近隣アジア諸国でもASFが継続的に発生しています。



## 夏期休暇期間中の防疫対策の徹底

家畜の重大な疾病である口蹄疫は、本年3月に中国の豚で、5月にモンゴルの牛で発生が確認されており、アフリカ豚熱はアジア及びヨーロッパで継続的に発生しています。

新型コロナウイルスの感染が世界的に継続しており、人・モノの移動が減少している状況にありますが、東京オリンピック等で多くの関係者が来日していることを踏まえ、引き続き家畜伝染病の侵入防止のため、下記の徹底をお願いします。

1. 発生地域への渡航自粛
2. 消毒及び衛生管理区域への病原体持込み防止
3. 毎日の健康観察、早期発見・早期通報

2021年7月27日時点

# 豚熱対策の徹底を！

養豚農場における豚熱は、5月に山梨県、7月に神奈川県、8月に山梨県・群馬県で確認されました。いずれもワクチン接種済農場です。

豚熱ワクチンは適切に使用していても必ずしも十分に免疫を獲得できない豚が一定数存在することは避けられず、豚が豚熱ウイルスに感染することを完全に防ぐことはできません。

豚熱ウイルスの農場への侵入防止措置に加え、**特にワクチン接種前の感受性豚が多く存在する離乳豚舎等における措置**をより一層徹底してください。

以下のポイントを押さえて、侵入防止措置を行ってください。

1. **衛生管理区域への野生動物侵入防止、人や車両の進入時の対策**
  - ・防護柵に隙間や破損がないか点検する
  - ・車両消毒は、動噴等で汚れを落とす
2. **作業着、手袋、長靴の交換並びに交差汚染の防止**
  - ・豚舎ごとに作業着、手袋（手指消毒）、長靴を用意し、交換前後の動線が交差しないように工夫する
  - ・敷料を保管する際に、野生動物や野鳥の接触がないようにする
3. **免疫を獲得してない豚群への対応**
  - ・ワクチン接種前の離乳豚群は母豚からの移行抗体が低下し、感染リスクが高いことから、より一層衛生管理を徹底する
4. **消毒液の選択と交換頻度**
  - ・消毒薬は、土壌や糞便等が混入すると消毒効果が減弱するので、定期的に交換する
5. **農場内作業動線と作業手順**
  - ・屋外の通路の清掃、消毒の徹底は難しいので、豚は屋外を歩かせず、可能な限り消毒済ケージ等を利用して移動させる
6. **教育訓練等**
  - ・作業に携わる人全員が統一したやり方で実施する
7. **野生イノシシ以外の野生動物への注意**
  - ・養豚場での発生は、野生イノシシそのものではなく他の野生動物等を介してウイルスが侵入する可能性があるため、近隣で陽性イノシシが確認されていなくても注意する
  - ・猫等の出入も同様

# 県内採卵鶏初 農場HACCP認証取得！

令和3年6月、白河市の有限会社石井養鶏場が農場HACCP認証を取得しました。福島県内の農場HACCP認証取得は養豚2農場のみで、採卵鶏農場での取得は県内初となります。

石井社長は「従業員にも安全管理を徹底してもらったいい機会になった」と取り組みの効果を感じている様子です。



(前列中央：石井信一社長)

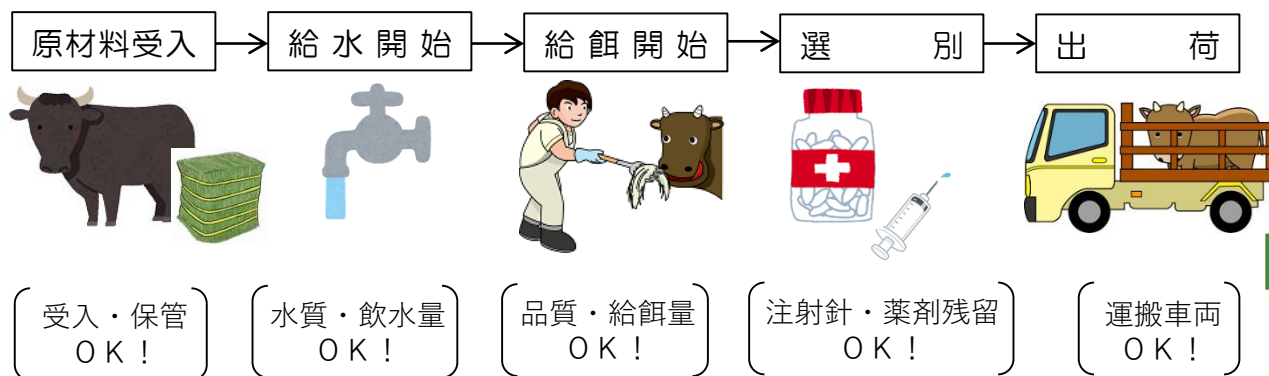


## ◇農場HACCPとは…？

原材料の入荷から生産・出荷までの全ての工程について

- ①あらかじめ危害要因（微生物、化学物質、異物混入など）を予測し、
- ②その危害を防止するための重要ポイントを設定し、
- ③そのポイントを継続的に監視・記録し、
- ④異常が認められたらすぐに対策を取り解決することにより、不良な生産物の出荷を未然に防ぐ衛生管理の手法のことです。

### HACCP方式



1つ1つの工程や作業でしっかりと管理

※出荷後に問題が起きた場合、記録等により原因の特定と改善が容易

家畜保健衛生所では、農場HACCPの取り組みを支援しています！

安全性を確保！

興味のある方はお問合せください。